

10月1日
田沢湖生保内

人権擁護委員としてご活躍

高橋正子さんに法務大臣から感謝状

平成25年9月30日まで人権擁護委員としてご活躍されてきた高橋正子さん（田沢湖生保内）に、この度、法務大臣より感謝状が贈られました。
高橋さんは、平成19年10月から人権擁護委員として6年間、地域の皆さんの人権擁護のために尽力されてきました。



感謝状が贈られた高橋正子さん

10月12日-14日
東京都内

スポーツ祭東京2013 第13回全国障害者スポーツ大会

武田利美さん、大桃克也さんがメダル獲得



銀メダルを獲得した武田利美さん
銅メダルを獲得した大桃克也さん

10月12日から14日の日程で、第13回全国障害者スポーツ大会が東京都内各地で行われ、次の方々が見事メダルを獲得しました。

大会成績（敬称略）
卓球（サウンドテーブルテニス）
銀メダル 武田利美（角館町）
フライングディスク ディスタンス部門
銅メダル 大桃克也（角館町）

仙北市のできごとをお届け

ちいきのわだい

11月2日 4日
スカイドーム

第25回トヨタジュニアカップサッカー大会 FC角館セレジエスタ ベスト4

11月2日から4日に秋田市雄和のスカイドームで第25回トヨタジュニアカップサッカー大会が行われ、県内の各地区予選を勝ち抜いた33チームが熱戦を繰り広げました。
この大会にFC角館セレジエスタが出場。接戦を制しながら勝ち上がり、全県ベスト4の成績を収め、5月に行われる東北大会へ出場します。なお、選手の試合の様子は、11月23日午後2時からABS朝日放送でテレビ放送される予定です。



今大会（5年生以下）で好成績を収めたFC角館セレジエスタのメンバー

10月31日
角館榊細工伝承館

第53回文化講演会

昭和初期の人々は自分たちと変わらない

10月31日、角館図書館後援会（高橋雄七会長）主催による「文化講演会」が、角館榊細工伝承館で開催されました。



「大正・昭和初期には婦人誌やグルメ日記、有名学校の『お受験』があり、当時の生活をそう遠くないものと感じるようになった」と話す中島さん

講師に小説家の中島京子さんを迎え、昭和初期の物語で直木賞受賞作品「小さいうち」誕生の経緯や時代背景について紹介しました。「学校で習う昭和初期と祖母から聞いた話がうまく合致せず違和感を感じた」ことからその時代を調べ、「今の自分とそんなに変わらない、似たような人たちが戦時中を過ごしていたことを考えると胸に迫る思いがした」と語りました。
この講演会は、芥川賞作家で新潮社記念文学館名誉館長の高井有一さんの紹介で、毎年著名な作家を招いて開催しているもので、今年で53回目。

仙北市主催事業紹介⑧

来年、秋田県で開催される国民文化祭の仙北市で行われる事業をシリーズで紹介しています。

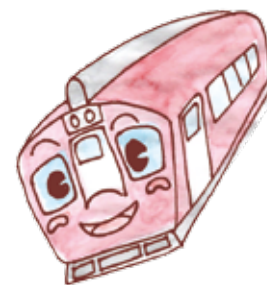
国民文化祭とは、日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を発表し交流を深める「日本最大の文化祭」です。

昭和61年に東京都で開催されてから毎年、各県を巡ってきたこの国民文化祭が平成26年秋、秋田県で開催されます。



第29回国民文化祭・あきた2014

内陸線アート ～私たちの普段着の町・地域～



秋田内陸線とその沿線に住む人々とのふれあいを通じた地域の魅力を発信します。地域資源を活用した地域博物館（エコミュージアム）をイメージしながら、内陸線事業（列車や駅舎等のアートラッピング）、秋田の音楽（懐かしい唱歌でつなぐ沿線）など普段のままの地域に磨きをプラスした地域体験型の事業でおもてなしをします。

日時 平成26年10月4日（土）～11月3日（日）

会場 秋田内陸線沿線・秋田内陸線全29駅および車両（北秋田市・仙北市共同）

事業内容
・全29駅や車両の装飾、駅や車両でのコンサート等のイベントを開催します。
・秋田内陸線沿線の音楽にスポットを当てた音楽会を開催します。
・地元の素材を使った落ち葉アート展や紙風船の制作体験等を開催します。

問合せ 第29回国民文化祭仙北市実行委員会 事務局
（教育委員会国民文化祭推進室内） ☎ 43-3315



秋田県マスコット スキッチ

第5回 生涯学習サークル紹介

広報せんぼく6月16日号掲載の仙北市生涯学習ガイドから主に市内で活動するサークルを紹介します。

参加してみたいなど、活動に興味がある方は生涯学習課にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

教育委員会生涯学習課 ☎ 43-3383

※開催日時が変更になる場合がありますので、初めて参加される方は事前にお問い合わせください。

■サークル名 ストリートダンス角館スクール

■活動場所 勤労青少年ホーム（角館町外ノ山19）

AKITA STREET DANCE PLANNERが主催するストリートダンス角館スクールでは、「どんなに田舎でも、都会と変わらず本物のHIPHOPカルチャーを学ぶことができる!!」をテーマにHIPHOP DANCE・GIRLS HIPHOP DANCE・BREAK DANCEの3つのスタイルを受講することができ、幼児から大人まで幅広くダンスを楽しんでいます。

また、入門クラスから初級クラスがあり、カリキュラムも充実しています。

■新規募集クラス
キッズクラス 毎週月曜日 17:00～18:00
GIRLS HIPHOP 入門クラス 毎週月曜日 19:00～20:15
BREAK DANCE 入門クラス 毎週火曜日 19:00～20:15
HIPHOP DANCE 入門クラス 毎週水曜日 19:00～20:15



10月27日
蘭田児童会館

第4回蘭田豊穣まつり 実りの秋を祝う

10月27日、蘭田児童会館で蘭田豊穣まつりが開催されました。
4回目の開催を迎えた今年は、地場農産物品評会へ農産物や加工品など90品近く出品されました。審査の結果、雲雀せつ子さんの「里イモ」が仙北市長賞、菅原アヤ子の「キャベツ」が白岩地域運営体会長賞、その他、15点が受賞しました。
屋外では餅つきや地元産の小麦で作ったうどんの販売などもあり、収穫の秋を祝いました。



出品物の見事な出来栄の農産物など並ぶ

10月28日
仙北市内

ANA総合研究所と協定締結 誰でも安心して観光できるまちづくりへ

ANAグループで、航空企業経営に関する研究、コンサルティング、提言を行うANA総合研究所（長瀬眞代表取締役社長）と仙北市が地域協働協定を結びました。
協定では、相互の人的・知的資源の活用と交流を図り、地域経済の活性化を目指した協働事業を実施し、仙北市の振興を図ることなどが盛り込まれています。
安心して観光できるまちづくり、地域ブランド化の育成や販路拡大など、この協定を通して仙北市の観光ブランドの高まりが期待されます。



協定書にサインする門脇市長と長瀬代表取締役社長

10月29日
仙北市内

秋田公立美術大学と連携協力協定 芸術・文化によるまちおこしを目指す

秋田公立美術大学（樋田豊次郎理事長）と市は、産業、教育、まちづくりなどの分野で地域の発展や人材の育成、芸術文化と産業振興に寄与することを目的に相互協力する連携協力協定を結びました。
市内の豊富な観光資源と芸術文化の融合を目的とする仙北市と、地域社会への貢献、研究成果の地域還元を踏まえた学生活動の広がりを目的とする大学側で今回の協定締結に至りました。
協定を通じ市民が芸術文化に触れる機会の創出や、教育活動の場を提供する



協定後、握手を交わす樋田理事長と門脇市長

などの活動による、新たな地域振興が期待されます。

10月22日
仙北市内

市内郵便局と協定結ぶ 見守り活動で相互協力

市は、災害発生時の対応や平常時における高齢者等の見守り活動などを円滑に行うための協定を市内郵便局と結びました。
10月22日に行われた締結式では、市や郵便局関係者が見守る中、佐々木正憲角館郵便局長と門脇市長が協定書にサインを交わしました。
佐々木局長は「日ごろ70人超す社員が地域を回っている。協定を機に一層地域のお役にたてるよう業務に努めたい」と話し、門脇市長も「地域の安心・安全のためお力を借りることができ心強い」とこれからの相互協力について話しました。



協定を交わす佐々木角館郵便局長と門脇市長

10月31日
角館南高校

角館南高校創立85周年記念講演 失敗あつての成功 まずは一歩踏み出して

10月31日、来年統合を控える角館南高校（青柳徹校長）の創立85周年を記念し、講演会が行われました。



講師は同校卒業生の荒木田裕子さん（田沢湖神代出身）。バレーボールの選手時代に全日本入りも果たし、オリンピックなどの世界大会で金メダルを獲得した経歴を持つ荒木田さんは「夢を追って」をテーマにロンドン五輪、オリンピック・パラリンピックの東京招致について講演しました。昨年のロンドン五輪銅メダル獲得については「選手・スタッフともに準備をしっかりと行った。こまめなやり取りから大丈夫という自信につながりチームが一つになった」、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定については「2016年の招致で敗れたが、そこで培った経験やネットワークが大きかった。東京決定の瞬間は政界もアスリートも国民も一つになったと感じた」と、それぞれ苦労した分喜びも大きかったと話し、在校生や会場に訪れたO.Bら約450人は言葉の一つひとつに熱心に耳を傾けました。

講師は同校卒業生の荒木田裕子さん（田沢湖神代出身）。バレーボールの選手時代に全日本入りも果たし、オリンピックなどの世界大会で金メダルを獲得した経歴を持つ荒木田さんは「夢を追って」をテーマにロンドン五輪、オリンピック・パラリンピックの東京招致について講演しました。昨年のロンドン五輪銅メダル獲得については「選手・スタッフともに準備をしっかりと行った。こまめなやり取りから大丈夫という自信につながりチームが一つになった」、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定については「2016年の招致で敗れたが、そこで培った経験やネットワークが大きかった。東京決定の瞬間は政界もアスリートも国民も一つになったと感じた」と、それぞれ苦労した分喜びも大きかったと話し、在校生や会場に訪れたO.Bら約450人は言葉の一つひとつに熱心に耳を傾けました。

10月25日
秋田市文化会館

第40回記念秋田県交通指導隊大会 交通指導隊員11人受賞



表彰状を受け取る佐藤健男さん（写真右）

10月25日、第40回記念秋田県交通指導隊大会が秋田市文化会館で開催され、仙北市から優良隊員として交通指導隊員11人、優良交通指導隊として仙北市交通指導隊が表彰されました。
表彰者（敬称略）
永年勤続20年以上優良隊員表彰
▼千葉章是 ▼辻成良 ▼黒澤常喜
▼千葉茂範 ▼堀川良行
満7年以上優良隊員表彰
▼高橋芳弘
特別功労30年以上優良隊員表彰
▼佐藤義直 ▼佐藤健男 ▼黒坂和夫
▼藤原良隆 ▼伊藤幸榮

10月23日
秋田県庁

平成25年度環境・保健事業功労者表彰 仙北市から5人・1団体が受賞

10月23日、平成25年度環境・保健事業功労者表彰が秋田県庁で行われました。「環境・保健事業功労者表彰」とは、県民の健康づくりや衛生水準の向上、生活環境の改善に貢献されている功労者の表彰です。保健衛生・医療・生活衛生・食品衛生・環境衛生・献血・健康づくりの7つの部門で107人の方々が表彰されました。
市内受賞者の方は次のとおりです。（敬称略）
栄養改善事業功労者
▼本庄昭一郎（社団法人秋田県調理師会角館支部理事）

医療功労者
▼大澤佳之（一般社団法人秋田県医師会理事）
生活衛生功労者
▼細川憲子（秋田県美容生活衛生同業組合角館支部神代班長） ▼鬼川湖一（秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合角館支部副支部長）
食品衛生功労者
▼藤原日出男（角館食品衛生協会食品衛生推進員・食品衛生指導員）
健康づくり推進事業者・団体等表彰
▼NPO法人角館総合型地域スポーツクラブ 理事長 狐崎捷琅

10月27日
田沢湖クレール射撃場

平成25年度仙北市クレール射撃大会 射撃の腕を競い合う

仙北市クレール射撃大会が10月27日に田沢湖クレール射撃場で行われ、21人が射撃の腕を競い合いました。
大会成績（敬称略）

優勝 浅利忠一（西木） 23点
準優勝 島山鏡榮（西木） 22点
第3位 大石治（田沢湖） 22点
第4位 菅本重弘（西木） 22点
第5位 門脇吉美（西木） 22点
第6位 浅利利男（西木） 19点
※同点の場合、年齢が上の方が上位